



初級研修基礎講座

会報

全国文化財壁技術保存会

第26号

令和八(二〇二六)年三月二〇日発行
 編集 行 集 (一社)全国文化財壁技術保存会
 事務局 愛知県江南市力長町 大当寺二二八
 TEL (〇五八七)五九一八〇〇〇

会長 安達保信



令和八年度会報の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年は、当会関係者各位におかれましては多大なるご支援とご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。また、会員の皆様には会の運営に格別のご協力をいただき、諸行事を滞りなく終えることができましたこと重ねて感謝申し上げます。

昨年は、一般社団法人全国文化財壁技術保存会として二年目を迎え、他の文化財建造物保存会様との交流も一層充実してまいりました。これは、我が国の文化財建造物の保存・継承に伴う後継技能者の育成に、共に取り組む体制が整いつつある証であり、大きな成果であると感じております。

また、当会の会員数も増加し、各行事に多くの皆様に参加され、盛会裡に終了できましたことを大変嬉しく思っております。

研修事業につきましては、昨年に引き続き基礎講座である初級研修を実施いたしました。八月と十月の二回に分け、各五日間の日程で行いました。また、中級試験は七月に二日間実施いたしました。

初級研修では、一日目に姫路城城郭研究センターにて講義を行い、姫路城の歴史や特徴を学

んだ後、修理現場の見学を通じて同城ならではの工法を学習しました。二日目には材料・工具の製造所の見学と講義、三日目以降は会員事業所にて土間たたき・版築工法の実技研修を行いました。

中級研修では、七月十九日に講義、翌日に筆記試験を実施し、六名の受験者のうち五名が合格いたしました。本研修は、将来文化財修理現場で指導者として活躍する人材の育成を目的としています。

さらに、十月六日からの後期研修では、一日目に材料の土採取現場および上塗り土製造業者の見学を行い、壁土採取の困難な現状について学びました。二日目には文化財建造物の現地見学を通じて施工法や材料選定などの研修を行い、三日目以降は竹小舞下地掻きの実技研修を実施しました。真竹を手作業で割

り、藁縄で編みつける作業を体験し、土壁の厚みに応じた工法の違いについて理解を深めました。

イベント活動としては、九月二十一日に姫路城三の丸広場にて来場者を対象とした漆喰塗り体験の指導を行い、若手技能者を中心に多くの会員が協力してくださいました。また、十一月二十二日・二十三日に開催された「日本の技フェア」では、壁に関する展示や竹小舞掻き下地の実演を行い、当会の技術を広く紹介する機会となりました。これらの行事が無事に終了できましたのも、ひとえに会員の皆様のご尽力の賜物であり、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

今後実施すべき行事は多岐にわたりますが、引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副会長 津田弘道



平素より関係各位の皆様には当会の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度は、当会が所属する一般社団法人文化財修理技術保存連盟の広報委員会において委員長を拝命し、材料高騰や賃金上昇に対応するため、単価を毎年更新する制度への改革を進めました。また、直近の労務単価が適切に反映されているかを確認するアンケート調査も実施いたしました。令和8年度には文化財保有者の皆様が修理に関する情報を検索しやすくなるよう、文技連ホームページの新設も計

画しております。

今後は、一人でも多くの職人を育成できるよう、待遇面の改善に取り組み、人材育成をさらに推進してまいります。資格制度の見直しをはじめ、文化財の現場を担う職長技師の育成にも力を注いでまいります。

会員の皆様には、姫路城漆喰塗り体験会において多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。まだ参加されていない会員の皆様にも、指導の難しさと楽しさをぜひ体験していただきたく存じます。この機会に、地方で伝統技術を継承する会員との交流を深めていただければ幸いです。

また明治・大正期の洋風建築物が新たに文化財指定を受ける動きもあり、石膏彫刻や人造洗出しについても研修で実施していきたいと考えております。

今後とも、変わらぬご支援と

ご協力を賜りますよう、よろしく
お願い申し上げます。

副会長 小林 錦四郎



会員の皆様ならびに、平素より
本会の活動に多大なるご支援
を賜っております関係者各位に
おかれましては、ご健勝にてご
活躍のこととお慶び申し上げます。

この度、理事会におきまして
皆様よりご指名を賜り、副会長
を拝命いたしました。前任の中
嶋副会長には大変お世話になり、
その大きな後を継ぐことに身の
引き締まる思いです。微力では
ございますが、皆様と共に活動

を進め、本会の発展に尽力して
まいりますので、今後とも変わ
らぬご指導ご鞭撻を賜りますよ
うお願い申し上げます。

令和七年度におきましては、
六月一日の定期総会（一般社団
法人全国文化財壁技術保存会・
第一期）をはじめ、七月の中級
筆記試験（六名参加）、八月の初
級研修基礎講座（前期）、九月の
姫路城漆喰塗り体験、十月の初
級研修基礎講座（後期）、十一月
の「日本の技フェア」（福井県開
催）など、年間行事を無事に実
施することができました。さら
に本年度は上級試験も実施し、
いずれの事業も皆様のご協力の
もと滞りなく終了いたしました。
今後は、研修内容の充実やフ
ォローアップ研修の実施など、
より良い体制づくりを検討して
まいりたいと存じます。今後と
も皆様のご理解とご協力を賜り
ますようお願い申し上げます。

第1期（令和7年度）総会

令和七年六月一日、京都市に
て一般社団法人全国文化財壁技
術保存会第一期総会を開催しま
した。

来賓等は、文化庁文化資源活
用課 文化財調査官の稲垣智也
様、京都女子大学 家政学部
生活造形学科教授 鶴岡典慶様、
昨年度より顧問としてご指導い
ただいている岡山理科大学名誉
教授 建築歴史文化研究センタ
ー・特胆教授 江面嗣人様の三
名にご臨席賜りました。

定時総会では、令和六年度事
業報告及び収支報告、令和七年
度事業計画案及び収支予算案の
審議、理事役員の退任に伴う選
任を行い原案の通り承認されま
した。尚、新役員には浅原一郎
氏と中嶋英貴氏を選出されまし
た。その後、昨年度入会された
新会員紹介を行いました。



顧問 江面氏あいさつ



安達会長あいさつ



来賓 鶴岡氏あいさつ



来賓 稲垣氏あいさつ

令和七年七月十九日と二十日に京都市の都ホテル京都八条にて左官（日本壁）伝承者養成技術研修会 中級筆記試験が開催されました。

京都女子大学より鶴岡典慶様、伝統技法学庵より代表の高品正行様、岡山理科大学より当会顧問である江面嗣人様の三名に講

**左官(日本壁)
中級研修会(筆記試験)**



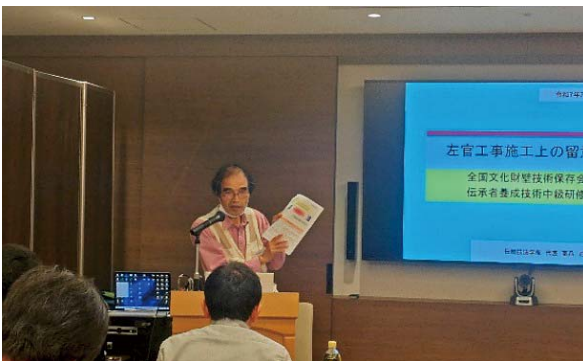
決議の様子



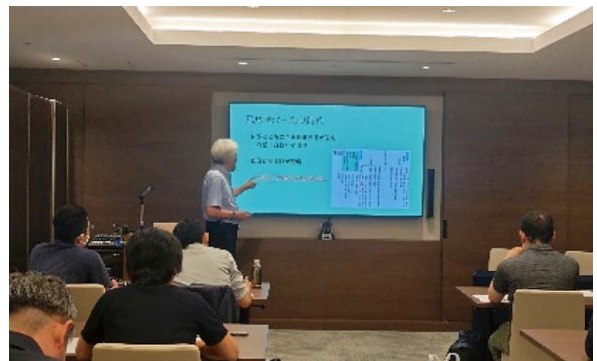
江面氏 講義

師としてお越しいただき、「技術者の心得の文化財建造物の修理」「日本壁の歴史」「壁保存修理の原則・施工上の留意点」「各地の左官技法」それぞれ講義をしていただきました。伝承者とは技術だけではなくと学ぶ良い機会となりました。

二日目には三名の講師から出題された試験を行い終了し、可否は後日発表されました。



高品氏 講義



鶴岡氏 講義

左官(日本壁) 初級研修 基礎講座

本年度の伝承者養成技術研修会・初級研修(基礎講座)は、前期・後期あわせて十日間の日程で開催いたしました。前期は令和七年八月二十五日から二十九日、後期は十月六日から十日まで実施し、各地の会員の皆さまを中心とした関係者の皆様に多大なるご協力をいただきながら、充実した研修となりました。

■前期研修

(姫路・三木・堺・大津)

前期では、兵庫県姫路市の日本城郭センターにて、姫路市教育委員会生涯学習部文化財課の福田剛史氏より、姫路城修復を例とした文化財保全に関する講義を受講した後、現在も修復が進む姫路城の現場を見学しました。

その後、(株)スギタ工業での鋳

造工程の見学、宮谷製作所宮谷中氏の案内による三木市金物資料館の見学、大阪府堺市の(株)北正商店での珣製造見学を行いました。また、深井北町会館では(株)北正商店北野一成氏、(株)丸京石灰鳥越宣宏氏(当時)より、珣と石灰に関する講義を受けました。

さらに、滋賀県大津市の(有)津田左官工業所にて、津田弘道氏による土間三和土・版築工事の実技講習が行われ、基礎技術への理解を深めました。

■後期研修

(京都・大津)

後期では、京都市の尾崎色土製造所にて尾崎良弘氏と尾崎誠氏より土製造の工程を学び、(株)浜橋組建材では土採取の現場を見学しました。

文化財見学としては、(有)安達左官店 安達保信会長の案内により黄檗宗萬福寺、東本願寺、

涉成園を巡り、(有)京壁并筒屋佐藤 佐藤ひろゆき氏の案内で二條陣屋を見学しました。歴史的建造物の構造や意匠、修復の難しさとその技術を間近に学ぶ貴重な機会となりました。

実技研修では、前期に続き(有)津田左官工業所にて、津田弘道氏の指導のもと、小舞搔きとチリ箒作成の実技講習を行い、現代機械ではなく昔ながらの道具を使用し、伝統技術の基礎を体験的に習得しました。

本年度も多くの皆さまのご支援とご協力により、初級研修基礎講座を無事に開催することができました。心より御礼申し上げます。

来年度は、昨年度の研修生を対象とした「初級研修・応用講座」を実施する予定です。引き続き、伝統技術の継承に向けた取り組みを進めてまいります。



姫路城修復現場見学 集合写真



城郭研究センターにて福田氏の講義



三木市金物資料館見学



(株)スギタ工業にて鋳製造見学



深井北町会館にて北野氏の講義



(株)北正商店にて食品加工見学



昨年度研修生の版築を解体調査



深井北町会館にて鳥越氏の講義



土間三和土



土間三和土の実技研修



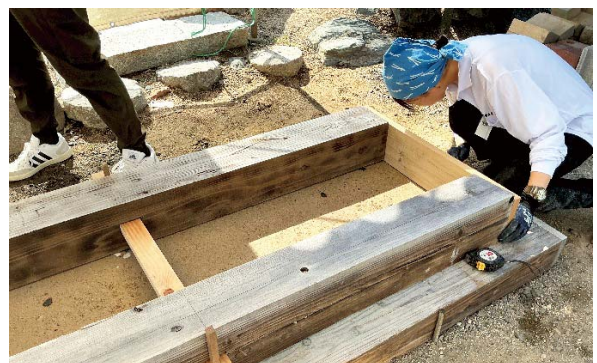
三和土完成



安達会長からひふみ石を学ぶ



版築の実技研修



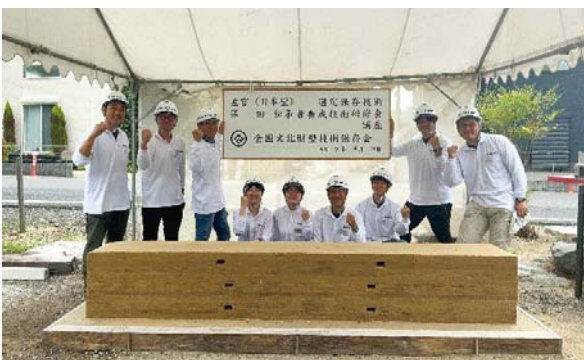
版築の型枠



型枠を外して仕上がり検査



津田副会長指導のもと版築施工



前期研修 修了



版築の層



京都の土を触って確かめる研修生



（株）浜橋組建材にて土採取場見学



試し塗りの様子



尾崎色土製造所にて土製造見学



黄檗宗萬福寺にて集合写真



安達会長の案内のもと見学



二條陣屋見学



佐藤氏の案内のもと見学



東本願寺にて集合写真



東本願寺見学



涉成園見学



東本願寺外壁



涉成園塀



涉成園見学



浅原氏指導のもと茶室壁にも挑戦



竹小舞搔きの実技研修



小舞搔き



様々な壁の小舞搔きに挑戦



後期研修 集合写真



小舞搔き完成品



津田副会長指導のもとチリ箒作成



シュロ縄でチリ箒作成



後期研修 修了



チリ箒完成品

左官(日本壁) 上級試験 論文

令和八年二月十六日、京都市の都ホテル京都八条にて左官(日本壁)伝承者養成事業 上級試験が開催されました。中級試験に次ぐ新たな段階として、本試験は今回が初めての実施となります。

研修資格制度の見直しにより、後継を育てる技術者の更なる育成を目的として設けられた上級試験は、より高度な技能と知識、文化財に携わる者としての理解が求められる内容となりました。合格者には上級技能認定者としての登録手続きをご案内し、今後の活動に活かしていただく予定です。

本事業では、今後も伝統技術の継承と人材育成を目的に、より充実した研修・試験制度の運営に努めてまいります。



姫路城漆喰塗り体験会

令和七年九月二十一日、壁保存会と姫路市との共催事業として、「令和七年度 姫路城漆喰塗り体験会」を開催いたしました。当日は姫路城三の丸広場において、修復工事で実際に使用されている漆喰を用い、平壁漆喰塗りおよび屋根目地漆喰塗りの体験を行いました。あわせて、左官の仕事や漆喰に関する解説、道具や材料見本の展示も実施しました。

今年も多くの来城者の皆さまにご参加いただき、体験会の指導員として当会会員20名以上が参加するなど、大変活気ある催しとなりました。イベントの様子は地元メディアでも取り上げられ、盛況のうちに終了いたしました。

令和八年度も皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



文化庁 日本の技フェア

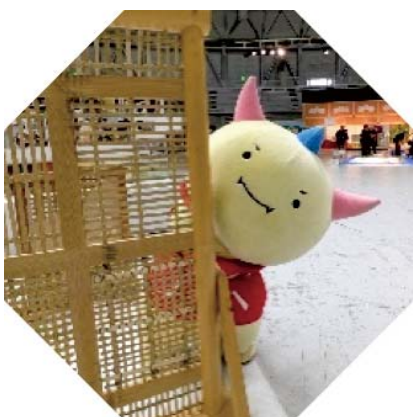
令和七年十一月二十二日(土)・二十三日(日)に開催された文化庁主催「日本の技フェア」へ、今年も出展参加いたしました。今回は福井県越前市のサンロード福井にて「福井お宝博」との合同開催となり、会場は終日多くの来場者で賑わい、盛況のうち閉幕しました。

壁保存会のブースでは、左官道具や文化財修復に用いられる各種材料の展示に加え、以前制作したDVD『自然由来の材料と左官の手仕事』の映像公開を行いました。また、竹小舞掻きの実演も実施し、来場者の皆さまに伝統技術の工程を間近でご覧いただく貴重な機会となりました。

会場には、文化庁より選定を受けている全国各地の団体も多数参加され、年に一度の交流の



場として大変意義深い催しとなりました。
 ご来場くださいました皆さまに、心より御礼申し上げます。今後も、伝統技術の継承と普及に一層努めてまいりますので、引き続きご支援賜れましたら幸いです。



**文化庁長官表彰
 当会より三名が受彰**

永年にわたり文化活動に優れた成果を挙げ、日本文化の振興に多大な貢献をされた方々をたたえる「文化庁長官表彰式」が令和7年12月17日に開かれました。

天池三郎さん(中島左官(株))、
 内田良朋さん(中島左官(株))、
 原健一さん(原左官工芸)の3名が受賞されました。

当会会員より3名もの授賞者が選出されたことは大変喜ばしいことであり、長年にわたる御精進とご功績に深く敬意を表します。今後益々のご活躍を祈念し、ここに心よりお祝い申し上げます。

この受賞を契機に、当会としても伝統技術の普及と後進育成に一層努めてまいります。



原健一さん



内田良朋さん



天池三郎さん

会された会員の紹介です。

令和七年一月から十二月に入

新入会 会員紹介



【第二種準会員】

■脇坂一輝(脇坂左官・滋賀)



この度、全国文化財壁技術保存会に入会させて頂きました。脇坂左官店、脇坂一輝と申します。

昔から受け継がれてきた、壁づくりの伝統を大切にして、左官職人の確かな技術と知識を学んでいきたいと思えます。

自然素材の特性を活かし、一つ一つの工程に心を込めて仕上げ、壁が持つ本来の役割や美しさを学びたく、精進して参りたいと思っております。

若輩者ではございますが何卒、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

■深町徹(株)深町左建・福岡



この度全国文化財壁技術保存会に入会させていただきました(株)深町左建の深町徹と申します。

日々の仕事の中で、伝統や技術、知識の大切さを強く感じしており、皆様から多くを学ばせて頂きたいと思っております。どうぞご指導のほど、よろしくお願いたします。

■阿部純也(阿部左官業・滋賀)



この度、全国文化財壁技術保存会に入会させて頂きました。阿部左官業の阿部純也と申します。

全国の伝統工法を重んじる会員様との交流・研修を通じまして自己の研鑽に励みたいと思ひ、今回入会させて頂きました。

歴史ある左官の伝統工法を後世に一つでも多く残せるように努めたいと思つている所存です。

若輩者ではありますが、何卒御指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

■荻平雄彦(荻平左官店・滋賀)



この度は、以前から入会したいと思つていた全国文化財壁技術保存会に入会をさせて頂いたばかりありがとうございます。荻平左官店 萩平雄彦です。

数年前から有形文化財の修繕工事をする機会が増えました。近日は壁竹下地を先輩に指導を

してもらい、竹を割り縄で編む貴重な体験をしたところ入会一年目よろしくお願ひします。

■小川和也(和匠・滋賀)



この度、全国文化財壁技術保存会に入会させて頂きました。和匠の小川和也と申します。

日々、職人として左官仕事に携わる中で、伝統技術の奥深さや正しい知識と技術を身につけることの重要性を強く感じております。現場では経験と勘に頼る部分も多くありますが、正しい技術を学び、守り、次の世代へ繋げていくことに少しでも貢献できるように精進してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、

よろしくお願ひ申し上げます。

【協賛会員】

■鳥越宣宏(一般社団法人)

伝統素材伝承支援協会・京都)



このたび私事により、改めて「協賛会員」として入会させて頂いたことになりました。誠にありがとうございます。

立場は変わりましたが、左官壁を伝承していくために不可欠な石灰・のり・すさ等の産地や製造現場を巡り、生産者が伝える継ぐことを支援する活動は生涯続けていく所存です。私のライフワークが皆様の一助となれば幸いです。

今後変わらず、研修や行事等を通じて皆様をお手伝いして

参りますので宜しくお願ひいたします。

絵巻から見る現場の声

江戸時代の職人の姿を描いた絵巻には、作業風景だけでなく、当時の現場で交わされた『声』まで書き添えられていることがあります。



「やれさうばらよ 家にて鏝猶とりてこ 壁の大工まいりて候下地とくして候はばや」

現代語に訳すと「おいおい、人々よ。家にある鏝をさらに取ってきておくれ。壁塗りの大工

(左官)が来ているのだ。下地を早く準備したい。」と読み取れます。

短い文章ですが、現場の空気を感ずることが出来ます。職人だけでなく周りの人々も作業を手伝い、協力して家を建てていた時代、道具も材料もすべて人の手で運び、人の段取りで進んでいた時代。この一言から、職人たちの息づかいと、仕事を支える「段取り」の大切さが伝わってきます。

現代の修復現場でも、段取りの良し悪しが仕事の質を左右するのは同じです。古い絵巻に残された声は、今の私たちにも大切なことを語りかけています。

(出典：国立国会図書館デジタルコレクション「和国諸職絵づくし」)

編集だより

昨年は研修会やイベントを通して、会員の皆様より大変お力添えを賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

一般社団法人として法人化を行ってから、早くも二年が経ちました。この一年は会員証・資格証の発行、5月には新しいホームページの公開を行いました。研修の分野では2月に中級試験に続く上級試験が実施されるなど、法人化プロジェクトで計画していた事業が、ようやくすべて動き出した節目の年となりました。いずれも皆様のご協力があったことです。改めまして感謝申し上げます。

ありがたいことに会員数も増え、研修への参加希望の声も多く寄せられています。特に初級研修では定員の約三倍のお申込みをいただき、受講いただけな

かった皆様には大変心苦しく思っております。事業規模の都合上、どうかご理解いただけますと幸いです。

また「研修を一通り受けると、イベント参加以外に関わる機会が少ない」というお声を受け、令和8年度より人数制限はございますが会員であればどなたでも参加できる講習会を新たに開催することとなりました。なお、見学につきましては人数制限を設けておりませんので、ぜひ多くの皆様に足を運んでいただければ幸いです。

講習会では会員の皆様から「受講したい技術」「腕を磨きたい技術」を募集し、これまでの研修では網羅できなかった内容も対象に開催してまいります。ベテランから若手職人まで、世代を超えて技術を磨き合える場として充実させてまいります。

なお、来年度の総会は5月31

日に開催予定です。詳細は改めてご案内いたしますので、ご予定に入れていただければ幸いです。

事務局では、会報誌に掲載する記事を随時募集しております。ご意見・ご感想などもぜひお寄せください。

最後に、今回原稿をご提供いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。来年度もどうぞよろしく願います。

(編集・事務局)

保存会ホームページアドレス
kabezonkai.or.jp
事務局 Eメール
info@kabezonkai.or.jp



SAKAN_NIHONKABE

壁保存会 Instagram

**重文・旧三笠ホテル
建造物保存修理工事
(株)あじま左官工芸**

明治38年に建てられた旧三笠ホテルは、日本人の手による本格的な木造洋風建築として高い歴史的価値を持つ建物です。今回の保存修理工事では、文化財としての意匠と素材を守りながら、現代の安全基準に適合させるという課題に取り組みました。



内部の漆喰壁は、可能な限り既存の材料を残す方針のもと、下地の状態をいか所ずつ丁寧に確認しながら作業を進めました。吹き抜けの中央階段にある大壁では、全面にイグサを貼り、その上から尺トンボで伏せ込む工法を採用しています。この方法はひび割れや剥離を防ぎ、東日本大震災でも耐震性が確認された実績のあるものです。文化財であっても「安全に長く使い続けられる建物」であることを第一に考え、最適な素材と工法を選びました。

旧三笠ホテルは洋風建築特有のアーチ形状など曲面が多く、職人には高度な技術が求められます。また、下地の浮きや腐朽の程度が場所によって異なるため、それぞれに合わせた対策が必要となり、難易度の高い作業が続きました。

歴史的意匠を守りながら現代の安全性を確保することは、文化財修理における重要な使命です。今回の工事には壁保存会の会員も複数参加しており、伝統的な左官技術を次世代へ継承していく責任を改めて感じる機会となりました。



全国文化財壁技術保存会 技術継承のあゆみ

1993年	第1回研修会（奈良県）	文化財壁保存研究会発足
1994年	第2回研修会（滋賀県彦根市）	
1995年	第3回研修会（京都府京都市）	
	第4回研修会（京都府京都市）	
1996年	第1回技術研修会（兵庫県姫路市）	
1997年	第2回技術研修会（愛知県江南市）	
1998年	第3回技術研修会（京都府宇治市）	全国文化財壁技術保存会と改称
1999年	第4回技術研修会（京都府宇治市）	
2000年	第5回技術研修会（京都府宇治市）	
2001年	第6回技術研修会（兵庫県姫路市）	
2002年	第7回技術研修会（兵庫県姫路市）	姫路市教育委員会と覚書を締結
	初級研修基礎講座（第1期生）	選定保存技術保存団体として認定
2003年	初級研修基礎講座（第2期生）	
2004年	初級研修普通講座（第1期生）	
2005年	初級研修普通講座（第2期生）	
2006年	初級研修基礎講座（第3期生）	
2007年	初級研修基礎講座（第4期生）	
2008年	初級研修普通講座（第3期生）	
2009年	初級研修普通講座（第4期生）	
2010年	初級研修基礎講座（第5期生）	
2011年	初級研修基礎講座（第6期生）	・中級筆記試験（第1期生）
2012年	初級研修普通講座（第5期生）	・中級実技試験（第1期生）
2013年	初級研修普通講座（第6期生）	・中級筆記試験（第2期生）
2014年	初級研修基礎講座（第7期生）	・中級実技試験（第2期生）
2015年	初級研修基礎講座（第8期生）	・中級筆記試験（第3期生）
2016年	初級研修普通講座（第7期生）	
2017年	初級研修普通講座（第8期生）	
2018年	初級研修基礎講座（第9期生）	・中級実技試験（第3期生）
2019年	初級研修基礎講座（第10期生）	・中級筆記試験（第4期生）
2020年	コロナ禍の為未開催	
2021年	コロナ禍の為未開催	
2022年	初級研修普通講座（第9期生）	
2023年	初級研修普通講座（第10期生）	・中級実技試験（第4期生）
2024年	初級研修基礎講座（第11期生）	・中級筆記試験（第5期生）
	法人化を行い、一般社団法人全国文化財壁技術保存会となる	
2025年	初級研修基礎講座（第12期生）	・中級筆記試験（第5期生） ・ 上級試験

研修修了・試験合格者数一覧

初級研修修了者人数（修了証書発行年）				
第1期生	2004年発行	基礎講座2002年	普通講座2004年	7 名
第2期生	2005年発行	基礎講座2003年	普通講座2005年	7 名
第3期生	2009年発行	基礎講座2006年	普通講座2008年	5 名
第4期生	2010年発行	基礎講座2007年	普通講座2009年	7 名
第5期生	2013年発行	基礎講座2010年	普通講座2012年	5 名
第6期生	2014年発行	基礎講座2011年	普通講座2013年	5 名
第7期生	2017年発行	基礎講座2014年	普通講座2016年	8 名
第8期生	2018年発行	基礎講座2015年	普通講座2017年	6 名
第9期生	2023年発行	基礎講座2018年	普通講座2022年	7 名
第10期生	2024年発行	基礎講座2019年	普通講座2023年	5 名
初級研修修了生 総計※				62 名

※退会者含む

中級試験合格者人数（合格証書発行年）				
第1期生	2013年発行	筆記2011年	実技2012年	5 名
第2期生	2015年発行	筆記2013年	実技2014年	8 名
第3期生	2017年発行	筆記2015年	実技2018年	6 名
第4期生	2025年発行	筆記2019年	実技2023年	10 名
中級試験合格者 総計※				29 名

※退会者含む

上級試験合格者人数（合格証書発行年）			
第1期生	2026年発行予定	論文試験2025年	3 名(予定)

一般社団法人全国文化財壁技術保存会 会員名簿

	会員名	代表者名(所属先)	住所		会員名	代表者名(所属先)	住所	
第1種正会員	1	(株)山脇組	山脇 一夫	兵庫県姫路市	6	(株)しっくい浅原	浅原 一郎	京都市山科区
	2	中島左官(株)	中嶋 英貴	愛知県江南市	7	石田左官工業	石田 均	香川県さぬき市
	3	(有)津田左官工業所	津田 弘道	滋賀県大津市	8	(株)あじま左官工芸	阿嶋 一浩	東京都葛飾区
	4	小林左官店	小林錦四郎	和歌山県 有田郡湯浅町	9	(有)左官松本組	松本 勉	高知県安芸市
	5	(有)安達左官店	安達 明宏	京都市下京区				
第2種正会員	10	(有)田代千治店	田代 剛一	京都市下京区	21	田中昭義左官(株)	田中 昭義	京都市西京区
	11	(有)京壁井筒屋佐藤	佐藤ひろゆき	京都市上京区	22	(株)富士工舎	荒木富士男	福岡県那珂川市
	12	左司	小林 常司	京都市中京区	23	光増左官	光増 健二	広島県広島市
	13	しゃかんかとう屋	加藤 正幸	三重県伊賀市	24	宮奥左官工業	宮奥 淳司	奈良県宇陀市
	14	(株)イスルギ	石動 嘉信	石川県金沢市	25	壁左匠しらいし(株)	白石 博一	茨城県古河市
	15	木津工業所	木津 恵雄	京都市東山区	26	(株)小倉左官店	小倉 道生	岐阜県瑞浪市
	16	(株)おおた左官	太田 勝之	香川県三豊市	27	大橋左官	大橋 和広	福島県伊達市
	17	原左官工藝	原 健一	和歌山県和歌山市	28	(株)松本工業	松本 祐二	静岡県御前崎市
	18	吉村興業(株)	吉村 誠	東京都中野区	29	加藤左官店	加藤 祐一	埼玉県日高市
	19	(株)原田左官工業所	原田 正志	山形県山形市	30	(株)原田左研	原田 進	大分県日田市
20	大和左官	塩谷 洋晴	愛知県半田市	31	平賀左官	平賀 晃司	広島県東広島市	
賛助会員	32	宮谷製作所	宮谷 邦夫	兵庫県三木市	35	尾崎色土製造所	尾崎 良弘	京都府伏見区
	33	村樫石灰工業(株)	村樫 太郎	栃木県佐野市	36	(株)丸京石灰	鳥越 基克	大分県津久見市
	34	(株)北正商店	北野 一成	大阪府堺市	37	田中石灰工業(株)	田中 克也	高知県南国市
第2種準会員	38	雨松 宏樹	(株)みなみもり	兵庫県淡路市	42	深町 徹	深町左建	福岡県久留米市
	39	山口正太郎	山正左官	三重県鈴鹿市	43	阿部 純也	阿部左官業	滋賀県米原市
	40	清川 薫	清川左官工業(株)	香川県東かがわ市	44	萩平 雄彦	萩平左官店	滋賀県彦根市
	41	脇坂 一輝	脇坂左官店	滋賀県東近江市	45	小川 和也	和匠	滋賀県近江八幡市
協賛会員	46	(一社)伝統素材 伝承支援協会	鳥越 宣宏	京都市右京区				

※第2種準会員は個人会員

2025年度現在

〈 事 務 局 〉

〒483-8104 愛知県江南市力長町大当寺128番地 センターランドビル6階 中島左官(株)内
TEL : 0587-59-8000 FAX : 0587-54-9090 E-Mail : info@kabehozonkai.or.jp